

【穀粒判別器】を導入しました。

令和4年2月に農産物検査規格の改正により、機械鑑定を前提とした規格が策定され、JA多気郡では検査規格への対応及び、米の整粒・被害粒を数値化することにより生産者の技術向上に努めます。



* 【穀粒判別器】は、JA共済の支援により導入されました。